

え
いうもの

私はずっと以前から、米の飯のような、大衆向きの
一般的教養書として、基本的重要性を持つものと考えていた。

いわは

といった

現在の

私の立場から考えみると、学校、社会科学や社会科学中
心風な教材の取扱いは、如何に米の飯に近いよ
うであるかを、その実、それは
なりのである。
百科辞典風な、断片的知識や
の寄せ集め

基本的な学問に属す

単なる物知り 知識を得るから 知れたい、ほんとうに学問を学ぶための

科学的 ~~思考~~ 精神を養うには却って邪魔になるから 知れたい。

研究心

いいわゆる

る利

ものは、

例外もあるだろうが、まあ、

利は ~~利~~ 辞典 ~~の~~ ような編集 ~~の~~ になって ~~一~~ 冊した ~~後~~ 一

も見て ~~お~~ した ~~の~~ ばかりか、誤謬 ~~の~~ かなう ~~あ~~ る ~~の~~ と 困 ~~ん~~ っ

る。 ~~それ~~ ~~で~~ ~~少年~~ ~~時代~~ ~~から~~ ~~こ~~ ~~んな~~ ~~もの~~ ~~を~~ ~~決~~ ~~ま~~ ~~な~~ ~~ら~~ ~~せ~~ ~~て~~ ~~い~~ ~~く~~

~~今~~ ~~日~~ ~~も~~ ~~孫~~ ~~の~~ ~~質問~~ ~~に~~ ~~答~~ ~~え~~ ~~る~~ ~~場~~ ~~合~~ ~~、~~ ~~外~~ ~~は~~ ~~一~~ ~~切~~ ~~読~~ ~~ま~~ ~~な~~ ~~い~~ ~~こ~~ ~~と~~ ~~し~~ ~~て~~ ~~い~~ ~~く~~ ~~よ~~ ~~う~~ ~~だ~~ ~~。~~

ま

子供

辞書

その後も
之の文音をかゝる

新は昔時代から辞書なる人引かないようし

て来た。漢字の辞書もこれなるとは、
人ど

といつてもいいから、
国語の辞書は、
大権假名

すかいを欠る大あん
四十五六まで
一より手いしたと

英獨の辞書も外なうね
横文

已むを得ない時に限る
新は昔

と同じく、
捧読
しして、
何とも

意味がわかるまで
、
ネて法あたい
こせらるる

どうしてはつきり
音味が
取れない場合
限る
辞書より

同様に

2. 3
 い
 う
 す
 る
 い
 方法
 で
~~10~~
 十
 年
 近
 く
 も
 や
 つ
 て
 来
 た
 の
 で
 あ

武

(武士)

曹豪

新井 浩

大
又吉

(養ひをなす)

典
(竹溪)

大沼軟山

(捨吉)

文政元年

七十四歲

十二月二十日

芳樹史

妻姜氏

精一

京大鳥津豪堂

伯
明
五十八
五十八

明治十五年
五十八

招

益壽

५७५

03
25

荷風(十二年生)

10
 11

永井 (禾原)

[11.5]

(張堂内人)